

2018年5月30日

過去に通院・入院されている患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 血液ガス測定における検体保存状態の影響

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 井川奥義 検査部 臨床検査技師

[研究の目的]

以前は血液ガスの採取容器はガラス製を使っており、測定までの保存は氷冷で行ってまいりました。しかし近年、衛生面や効率化の観点からも使い捨て可能なプラスチック製に変更されてきています。このプラスチック製への変更によって、採取容器内の血液と空気の間で気体の通り抜けが起こるようになりました。これはガラス製容器では起こらなかった影響です。この気体の通り抜けは血液が冷やされることでより多く起こります。そのため、現在ではプラスチック製容器での保存は常温保存がよいのではないかとされています。今回、プラスチック製の容器において氷冷と常温でどのような影響が出るか調査することで検査精度の向上に役立てることが出来ます。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

平成30年8月1日から平成30年11月30日の間に、香川大学医学部附属病院に通院・入院された方

○利用する検体・診療情報

検体：血液ガス

診療情報：呼吸管理の状態

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 検査部 井川奥義

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 検査部 担当者 井川奥義

電話 087-898-5111(代表) FAX 087-891-2281